

The Open Group CHICAGO Conference ハイライト 第一日目

- * 開催日時: 2008年7月21日(月)～7月23日(水)
- * 開催場所: InterContinental Chicago

- * OPEN GROUP Conference in CHICAGO
<http://www.opengroup.org/events/q308/>

<第一日目>

The Open Group の第 19 回エンタープライズ・アーキテクチャ・プラクティショナ・コンファレンスが7月21日(月)に米国シカゴで開催された。業界のリーダー達が近郊から遠方から歴史のある有名な InterContinental Chicago Hotel に集まり、最近のエンタープライズ・アーキテクチャの動向や挑戦について意見を分かち合い、グローバルなビジネスとともに、行政府組織の EA の話を聞く機会を得た。以下は第1日目のハイライトである。

Allen Brown 氏、President and CEO、The Open Group は、テーマ“Framework for Federated Architecture”のプレナリ・セッションのキック・オフの挨拶をし、会場に来られた数百名の出席者に歓迎の意を表した。

Allen Brown 氏のオープニングの挨拶に続いて、Shaun Harvey 氏、Wing Commander、Department Director, United Kingdom SAF/CPA が“Architecting for Interoperability using Fit For Federation Criteria”というテーマで基調講演を行った。

氏は、英国防衛省は数多くの相互依存関係のあるコンポーネントから構成されていて、複雑な非常に分散された企業と大変よく似ている、と切り出した。これらには、空軍や陸軍、海軍、海兵隊が含まれ、夫々は共通の統合された、相互に作用される課題を共有している。

DoDと空軍は統合化の手助けとなる Architecture Federation を使用している関係から、氏は、“Fit For Federation”と呼ばれている空軍の Architecture Federation アプローチの開発について説明した。

次は、Marc Othersen 氏、Senior Architect、Forrester Research が、“Compliance Frameworks: The Foundation of IT-GRC”というテーマで基調講演を行った。

氏の話によれば、ビジネス上の絶対的な事項や益々増える規制のプレッシャー、顧客の要望について数多くの CIO は、IT ガバナンスやリスク、コンプライアンス (GRC) に対応するためによく構造化されたエンタープライズ・ベースのアプローチの採用を強要されている。何故ならば、IT GRC イニシアティブは伝統的にあまりコーディネーションされずに組織を越えて散乱してしまった

ので、多くの企業は統一されたアプローチを創造するためのソリューションを求め、それをもってインフォメーション・リスクや IT コンプライアンス・リクワイアメントを管理し、同時に良いガバナンスできるようにしたいと考えている。氏は、IT GRCについてのForresterのビューの概要を述べ、強靱な IT GRC プログラムの開発について進言をした。氏の講演の追加情報については、Forrester からフリー・レポートを含め、下記のサイトをアクセス願いたい。

www.forrester.com/opengroup2008

次に、Ron Schuldt 氏、Senior Staff Systems Architect, Lockheed Martin Enterprise Business Services が "An Open Group Standard for Building Your Controlled Vocabulary" について話をした。氏はまず、TOGAF はエンタープライズ・アーキテクチャを定義するために必要なプロセスを明確にしている点は素晴らしいが、しかし TOGAF は組織横断的な"Boundaryless Information Flow"を保証していない。The Open Group 標準は、コントロール・ポキュラリためのファウンデーション・フレームワーク、例えば、the Universal Data Element Framework (UDEF) ちして知られているものはそのソリューションの一部であると、氏は言う。氏の講演では、UDEF の詳細や企業の中でその重要な役割が述べられた。UDEF 標準についての更なる情報は下記を参照されたい。

<http://www.opengroup/udefinfo/>

UDEF のトレーニングは、7月 23 日 9 時よりすべてのコンファレンス参加者に解放される。

この日の最後の基調講演者である Peter Van Hoof 氏、Principal Enterprise Architect, Sasol , South Africa は、"Standardize Architecture Delivery in a Federated Architecture using TOGAF"というテーマで話した。南アフリカで最大の企業である Sasol は、強固な確立された連邦型ビジネス・モデルを持ち、会社の数多くの様々な事業部で組み込みビジネス・プロジェクトの手法として使用されており、そのビジネス・

モデルは、Business Development and Implementation Model (BD&IM) と呼ばれている。氏の講演では、Sasol がどのようにして BD&IM と TOGAF とを整合性を持たせたかー即ち、TOGAF を使用して、連邦型アーキテクチャの環境下でアーキテクチャの標準化を如何に行ったかを説明した。

午後からの Government Architectureトラックでは、Robert Weisman 氏、Partner &Executive Consultant, Global Enterprise Architecture Practice Leader, CGI は、"TOGAF Case Studies in Government"というテーマで話した。氏は、米国やカナダ政府のいくつかの TOGAF の事例を話し、今後の官庁における TOGAF の利用の際の助言や TOGAF と他の EA フームワークとが、Zackman や EA ツールを含めて、如何に機能するかを話した。また、Australian Government Outcome Based Planning and Australian Government Architecture にも触れた。

TOGAFトラックでは、Matt Vandembush 氏、Enterprise Architect、Brady Corp.は“Preparing the Enterprise for a Successful Architecture Program Based on TOGAF”というテーマで事例を紹介した。“EA グループの約半分は、2年以内に解散し、その内の多くは、ステークホルダの期待に応えていない。”これらは、社内的に良い成果を挙げていない—即ち、アーキテクトは、社内でのより良い意思決定に結びつくEAの価値を出す必要がある。わが社では、TOGAFは成功であった。氏は、組織におけるEA活動の3つの重要な点について助言した:ガバナンス・プロセスをしっかりとやること。

TOGAF ADM (Architecture Development Method) を使用すべく準備すること。

“Delivery”に焦点を当てること。

Government Enterprise Architectureトラックの後半では、Eduardo Castro 氏、Architect、Grupo Asesor en Informatica, Costa Rica が“Digital Government Strategy in Costa Rica”というテーマで講演し、コスタリカは戦略的にEAに強力なイニシアティブを発揮して、公共機関やプロバイダ、市民により良いサービスを提供するためにEAを実施した。

SOAトラックでは、Pinaki Ghoshi 氏、Lead Architect Specialist、The Dow Chemical Company が“Developing Enterprise Business Object Libraries to Support SOA”について講演した。

氏は、情報アーキテクチャにおける主な優位性は、TOGAF や Zackman、DODAF といった EA フレーム・ワーク内の良く構造化されたインフォメーション・フットプリント・モデルであるという議論から始めた。しかしながら、レガシー・アーキテクチャから SOA への移行に関して、多くの企業が無視する重要なことは、エンタープライズ・オブジェクト・ライブラリーの準備である。そのライブラリーには、ビジネスと IT のオブジェクトの両方が含まれており、それは、国際標準やユニークな加工品、データベース・アイデンティファイにより区分けされている。氏の会社では、IT サービスとビジネスとの整合性を良くするためにビジネス・オブジェクト・ライブラリーを有効に使用していると言及した。

第1日目の EA ベストプラクティス・マネージメントのトラックの最後は、Chang Peng 氏、Enterprise Architect、MoneyGram International の“Enterprise Architecture in Support of Business Strategy”というテーマの講演で締めくくった。

氏の講演の目的は、IT の壁を乗り越えて会社のビジネス戦略を支援するために、エンタープライズ・アーキテクチャを拡張したとのことであった。氏はさらに、講演の中で、MoneyGram International がどのようにして従来の EA モデルを再構築して、根幹のビジネス・ロジックを成功させ、いくつかの定量的なビジネス戦略に結びつけたかを話した。

以上